

奨励賞を受賞して

—母親を対象とした気象・防災知識普及および科学リテラシー向上への取組み—

サニーエンジェルス (一般社団法人日本気象予報士会)
代表 山本由佳*

このたびは大変名誉ある日本気象学会奨励賞を賜り、誠にありがとうございます。日本気象学会、日本気象予報士会をはじめとする関係者各位に、心より感謝申し上げます。

1. はじめに

サニーエンジェルスは、気象予報士でありながら母親・女性であるという特徴を最大限に活かし、母親の科学リテラシー向上等に貢献することを目的として2010年2月に発足しました。2015年11月現在、北は北海道、南は九州まで150名余りの日本気象予報士会会員が参加しています。講座のメイン講師等、表立った活動は女性会員が行いますが、会員の半数強を占める男性会員に計画・広報等で縁の下の力持ちとして支えられている。それがサニーエンジェルスです(第1図)。

2. 母親の科学リテラシー向上を目指して

2.1 さいえんすママカフェ

私達サニーエンジェルスが提供しているお天気教室は、「さいえんすママカフェ」という名前です。この名前は、「女性気象予報士が、母親達にとって身近な科学である気象をきっかけに、科学知識やその面白さを伝えていけば、母親達に受け入れられやすいのではないか?」という発想で名付けました。次世代を担う子ども達に大きな影響を持つ母親達に楽しい科学体験を提供し、自然科学への興味を喚起することは、未来の地球環境のためにも有益であると考えました。

実施にあたっては、家事・育児等で忙しく科学イベントへの参加に抵抗感が大きい母親達に参加を促した

め、茶菓を提供し、子ども同伴可(託児は引き受けない)にする等、「お得感」が感じられるよう工夫しています。

講義内容も、科学の面白さを共有することに重きを置き、可能な限り平易で、かつ科学的に正しく説明することを目指しています。



第1図 サニーエンジェルス第6回総会にて(2015年3月)。



第2図 赤ちゃんも興味津々。さいえんすママカフェぶち。

* Yuka YAMAMOTO.
yamamoto@sunny-angels.jp
© 2016 日本気象学会

2.2 さいえんすママカフェぶち

サニーエンジェルスは、乳幼児子育て中の母親向けには「さいえんすママカフェぶち（第2図）」という短縮型のプログラムも提供しています。育児サークルの皆様からは、乳幼児と一緒に知的好奇心を満足させることができるイベントとして好評です。

孤立育児・密室育児が長く問題視されていますが、「さいえんすママカフェぶち」は、そんな母親達のストレス発散や情報交換の場としても機能しているのではないのでしょうか。

3. 気象防災知識の普及・啓発のために

サニーエンジェルスでは活動開始当初から、気象防災知識の普及・啓発に取り組んでまいりました。それは、「命を守る」ことに敏感な母親に直接防災知識を提供できる好機であると考えたからです。

3.1 防災気象情報伝達における母親達の役割

防災気象情報を知った時の行動に関する調査結果によると、「防災気象情報が発表されたことを知った時、そのことを家族や知り合いに伝える」と答えた母親達は66%に上ります（山本・宮沢 2015）。さらに8割弱の母親達が子どもや配偶者に情報を伝え、平均しても約3.5人に情報を伝達しているという結果が得られました（第3図）。これらのことから、防災気象情報の伝達という点で、母親達は情報のハブ的な役割を果たしていると言えます。いざという時に、その役割を十分に果たしてもらうため、母親達に正しい防災知識を分かりやすく提供することが、より一層重要になると考えます。私たちのプログラムでは、いざという時だけでなく日常生活においても使い勝手の良いスマートフォンのアプリを紹介するなど、有用な気象防災情報の普及にも力を入れています。

3.2 オリジナル防災紙芝居

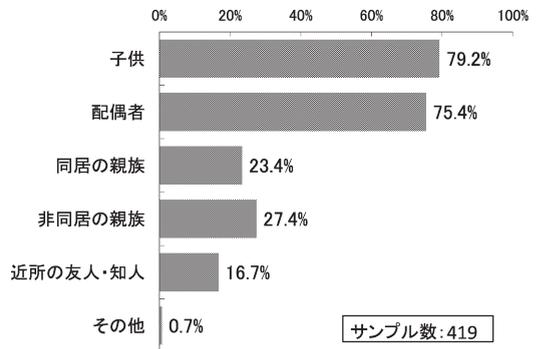
気象防災知識伝達の手段として、親しみやすいキャラクター・サニーちゃんを主人公にしたオリジナル防災紙芝居も作製しています。第一弾「サニーちゃんとかみなり」では、雷の成り立ちを科学的に解説し、雷が起こった場合の対処方法を示しました。第二弾「サニーちゃんのかわあそび（第4図）」では、豪雨により起こる川の増水、土砂災害などの危険性を伝えています。続く第三弾を2015年度中に作製する予定です。

母親達は防災情報の入手や伝達手段としては携帯・スマートフォンを望む一方で、子ども達に気象防災知識等を話す時には昔ながらの「絵本」を使いたいと考

えているという調査結果も得られています（山本・宮沢 2015）。母親達のニーズに合致しているという結果は、サニーエンジェルスの紙芝居プロジェクトにとって、さらなる追い風となっています。

4. 活動実績

2010年度から2015年度までの5年間で、私達は約140回の活動を行いました。主に関東地域で活動展開していますが、活動範囲も年々拡大し、北海道から九州・四国まで広がりました。新聞、ラジオ、TV等のメディア出演は約50件に上ります。視聴者の反響も好評で、依頼及び問い合わせの増加につながっています。現在ではホームページ、活動報告ブログに加えFacebookやTwitterも活用し情報発信に努めています。



第3図 防災気象情報が発表されたことを知った時、母親たちは誰に伝えるか？（2013年10月～2015年3月、気象予報士会関係者およびさいえんすママカフェ参加者対象に調査）。



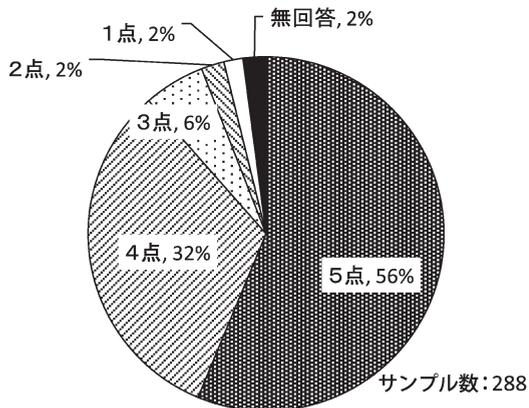
第4図 オリジナル紙芝居「サニーちゃんのかわあそび」。

す。

5. アンケート結果

5.1 参加者満足度

2014年度に集計した「満足度」のアンケート調査結果を第5図に示します。約88%の参加者から大変満足（5点）・満足（4点）の評価をいただきました。「参加して自然や科学・技術に興味が高まったか」に関する調査においても、約94%の参加者から「更に興味を



第5図 満足度調査結果 (2013年10月～2015年3月、さいえんすママカフェ参加者対象に調査)。

持った」「少し興味を持った」との回答が得られ、平易で分かりやすく科学の面白さを共有するという主旨は達成されていると感じています (山本 2014)。「理解度」に関しても高い評価をいただいておりますが、良好な結果に甘んずることなく、今後もコンテンツの改良に努めてまいります。

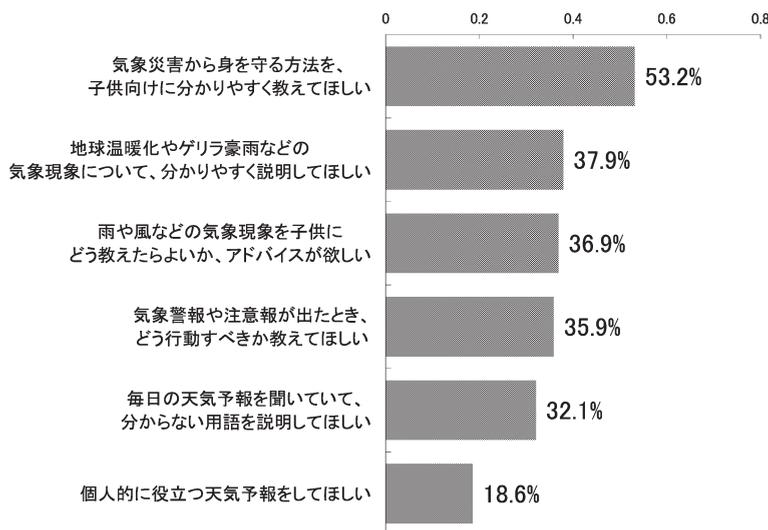
5.2 気象予報士に期待すること

2013年10月から2015年3月まで、さいえんすママカフェ参加者対象に行った「気象予報士に期待すること」に関する調査結果を示します (第6図)。「気象災害から身を守る方法を、子ども向けに分かりやすく教えてほしい」との回答が53%と群を抜いて多くなっています。気象現象や天気予報に関する知識の解説よりも、防災気象情報について分かりやすく噛み砕いて説明することが求められています。気象庁 (2011) による「防災気象情報の活用状況等に関する調査」において、住民の安全を目的として防災気象情報の内容は向上しているものの、必ずしも全ての住民が注意報や警報等の意味を正しく認知し行動している訳ではないことが指摘されていますが、それを裏付ける結果となりました。

6. まとめ

以上のように、サニーエンジェルスは、順調に活動を拡大しております。一方で、「母親向け」という趣旨に基づき保護者の参加を推奨していますが、子ども向け講座の依頼が来やすい等の課題もございます。迅速な運営のため、運営チームを立ち上げるなど組織の拡充は行いましたが、経済基盤に関しては未だ脆弱です。活動継続を最優先に考えつつ、今回の受賞を糧に、これらの課題の克服を目指します。

サニーエンジェルスは、女性気象予報士主体のチームであり、母親達を主対象にした科学系イベントを提供しているという点で、唯一無二「Only One」の存在です。気象予報士であり



第6図 母親達が気象予報士に期待すること (2013年10月～2015年3月、さいえんすママカフェ参加者対象に調査)。

母親・女性である私達だからこそできることが存在し、それが気象界全体の発展に大きく貢献できることも、多くの諸先輩方から教えていただきました。それらを誇りとし、才能あふれる素晴らしい仲間とともに「Only One」の存在として活動してまいります。

サニーエンジェルス理念「空を見上げるママを増やそう!」は、子育てに忙しい現代の母親達への応援メッセージであり、未来への願い、そして私達の決意をも象徴しています。

参 考 文 献

- 気象庁，2011：防災気象情報の利活用状況等に関する調査（平成23年5月31日）。報道発表資料，
<http://www.jma.go.jp/jma/press/1105/31a/manzokudo.html>。
- 山本由佳，2014：母親向けお天気教室「さいえんすママカフェ」活動報告及び母親の防災意識向上への取組み。日本気象予報士会第6回研究成果発表会予稿集。
- 山本由佳，宮沢弥栄子，2015：母親対象の防災意識等に関する調査。日本気象学会2015年度秋季大会予稿集，B370。